

愛ふれる美しい卒業式

剛健進取



3月号
令和4年
3月18日(金)
文責：比嘉 克章

心に残る卒業式

さわやかに晴れ渡り、春の日差しがまぶしい三月一二日(土)、卒業式が挙行されました。直前にコロナ感染の影響で本部町文化センターで予定された卒業式が本校、玄関前の中庭での式となった。残念ながら来賓の方々の出席はかきまわりましたが、一転して花に囲まれた美しい卒業式になりました。参加した保護者や子ども達にとって、生涯忘れ得ぬ記憶に残る卒業式となったのではないのでしょうか。◀玄関前には美しいピンクや白のベゴニヤやブーゲンビレアが咲き誇り、その中に卒業生が半円になり、それを見守るように保護者、さらに外側に教職員が座りました。在校生は教室でオンライン中継を見ながら、時にはベランダから顔をのぞかせ卒業式を上から見守る形での参加。中学校の在校生代表、生徒会長の安田愛永君

卒業生スピーチ

の思いのこもった送辞、卒業生代表の宮里優樹君のこれまでの感謝を込め思い出を語った答辞がありました。小学校卒業生は全員で門出の言葉を思いを込め語りました。小学生の「送る言葉」は事前に録画した映像を流しました。送辞や答辞を行っている間、児童生徒はベランダから顔を見せしっかりと卒業生の思いを受け止めることができました。このように、今年の卒業式は後にも先にもないような伊豆味の自然に抱かれ、花に囲まれ、まぶしいほどの春の優しい日差しに照らされたものになりました。

豊里輝礼 君(小六)数学が得意なので将来数学の先生になりたい。

福原鉄生 君(小六)将来バレーボール選手になりたい。人を助けたいので消防士にもなりたい。

照屋 空輝君(小六)人の役に立ちたいので、将来医者になりたい。

渡口梨美さん(中三)伊豆味校には一年間お世話になりました。中学校

での思い出は、初めて単独チームでバレーの試合や駅伝大会に出場できたことです。高校では資格をたくさん取りたいです。

安田 漣都君(中三)一年間を伊豆味で過ごし、楽しかったことや辛かったことを乗り越えてきた伊豆味で過ごした思い出は絶対に忘れません。

具志堅優杏さん(中三)伊豆味で過ごした日々は、あつという間で充実していました。部活や勉強、行事を通しあきらめない心を身につけました。

宮里優樹君(中三)(同級生の)男子三名は教室で走り回りまだ幼稚園生かと言われたこともあった。

愛らしい卒園式

三月一四日(火)幼稚園の修了式を行いました。▼七名の卒園生は、可愛い式服に身を包み保護者の愛情深いまなざしに見守られる中、元氣よく修了証を受け取り学び舎を巣立っていきましました。四月からは全員、伊豆味校の新年生になります。



羽ばたけ 15 名の卒業生 (幼小中)



仲間との強い絆と自分を信じて
誇りを胸に未来へ羽ばたけ！
新たな可能性と希望の扉
自分のステージに向かって
今出だせるとき！
生徒会 保護者

新たな道へ
歩み出せ
自分で創る輝く未来
童会

かやく笑顔で
いつも元気な6年生
いしに遊んごをありがとう
児童会